

## 令和元年度 下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

- 水位計と光ファイバー温度分布計測システムに AI を組合せた雨天時浸入水調査技術の実用化に関する実証事業（日本水工設計・ペンタフ・ワイケー技研・シュアテクノソリューション・ベクトル総研・さいたま市・藤沢市共同研究体）

概ね計画通り進められており、当初の目的に対して一定の成果が得られた。

今後は、ラインスクリーニングや浸入水 AI による雨天時浸入水発生箇所を検出率について、雨天時 TV カメラ調査等で実際の浸入水の状況を把握した上での検証や、本技術の適用範囲・適用条件の確認等が必要なことから、令和 2 年度も引き続き研究を実施し、ガイドライン化を図ることが望ましい。